

新型コロナウイルスに対する 3回目のワクチン接種に関して

川口市立医療センター 病院事業管理者 **大塚 正彦**



新型コロナウイルス感染症による世界的なパンデミックが始まってから2年以上が経過しています。日本においてはワクチン接種率の上昇と共に急激に感染者数が減少し、明るい未来が見えたと思われましたが、オミクロン株の出現により、第5波以上の感染爆発が起きています。現在3回目のワクチン接種が始まっていますが、皆さんはこの3回目のワクチンをどのように考えているでしょうか？3回目のワクチン接種によりオミクロン株に対しても入院を防ぐ効果が90%あり、また死亡率が90%以上減少したとの報告もあります。さらに我々の施設でワクチン接種後の抗体価を測定した結果、2回目接種後6カ月の平均は690でしたが、3回目接種後の平均は2万で、3回目接種前の29倍と大幅な増加が認められました。抗体だけではなくワクチンは細胞性免疫にも効果があります。ワクチンは1回目と2回目で体にウイルスを敵と認識させて記憶させていますが、3回目でこの記憶を強固にして長持ちさせるとされており、これで重症化を防いでくれます。なお3回目が違うワクチンである交互接種の効果も同様に認められていて、安全性も確保されることが報告されています。我々の目標は感染しないことはもちろんですが、最も重要なことはたとえ感染しても重症化しないことです。呼吸器疾患の重症とは人工呼吸器につながれるという極めて厳しいもので、この苦しさはワクチン接種後の一般的な副反応の比ではありません。重症化を防ぐために、ぜひ少しでも早く3回目の接種をご検討ください。

3月は自殺対策強化月間です

就職や転勤、転居など、生活環境が大きく変動し、自殺者数が増加する傾向にある3月を「自殺対策強化月間」と定め、国、都道府県、市町村、関係機関・団体などが連携し自殺予防のために取り組むことと自殺対策基本法第7条で定めています。市では、「大切な あなたの命は 宝物」をキャッチフレーズにして横断幕を駅などに掲示し、普及啓発しています。



自殺者数の現状

令和2年中の市内の自殺者数は91人で、自殺死亡率は人口10万人あたり15.0人です。全国の自殺死亡率は16.4人、埼玉県は16.3人です。

悩みを抱えた人には？

悩みを抱えた人を支援するために、身近な人(ゲートキーパー)の力が必要です。ゲートキーパーとは、悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて、必要な支援につなげ、見守る人です。

メンタルヘルスチェックシステム「こころの体温計」

パソコンや携帯電話から、いつでも簡単に心の健康状態をチェックできます。また、相談窓口も案内しています。初回利用時に性別・年代などを入力しますが、個人情報は一切取得せず統計学的なデータとしてのみ使用します。※性別・年代などを入力しない場合でも利用できません。



川口市 こころの体温計

検索

問 疾病対策課 ☎048-423-6748 FAX048-423-8852

イベントスケジュール

12日(土)

第64回川口市明るい街づくり運動推進大会
場 リリア 音楽ホール

3月

9日(土)・10日(日)

第93回春の安行花植木まつり
場 川口緑化センターほか

4月

19日(火)～5/15日(日)

端午の節供～五月人形の展示公開～
場 旧田中家住宅

26日(火)～5/1日(日)

SG第41回オールスター・オートレース
場 川口オートレース場

川口市広報課職員による
ちょっとくだけた!? 市政情報番組
City Information
FM Kawaguchiで放送中
放送日:平日の10分間...10:00、13:50、17:50、20:00



音楽の力で川口を元気に

川口フェス実行委員会 **伊藤 健さん**

「アーティスト良し・観客良し・地域良し」関わっているものが全てがハッピーになるように。近江商人の「三方良し」の精神を取り入れ、音楽で地域の活性化を目指す「川口フェス」が今年で節目の10周年を迎える。川口商工会議所青年部のプロジェクトとして発足したこの事業に、企画立案から最前線まで携わってきた伊藤さん。「過去に企画したB級グルメフェスティバルは今ひとつ街に根付かなかつた」とまぢおこしの難しさを痛感するも、地域を愛する熱血漢に諦めはない。そこで考えたのが、老若男女が楽しめて、集客により地域の活性化、経済効果が見込まれる「音楽フェス」だった。「伝統的な初午太鼓という音楽文化が根づくにある川口だからこそ、新たな観光資源にできる」と力強く語る。

市内各所で多くのステージを開催するフェスは、1年以上前から会場の確保や企画準備が始まり、資金集めや地域住民への説明など大変な努力を要し、困難も強いられる。それでも、「参加者の楽しそうな顔や喜びの声を聞けば疲れは吹っ飛びます」と笑顔で語る。さまざまな企画は市内外から多くの支持を受け、過去8回の開催でバンドの応募総数4649組、375ステージを実施するほど人気のフェスに。しかし、コロナ禍で昨年は中止、10回目となる昨年は悩んだ末、延期という選択を決断した。こんな時だからこそ音楽で川口を元気に、「みんな夢をもつべきだ!」というテーマのもと3月19・20日の開催に万全を期す。川口フェスには一般のアーティストのほか、地元の中

校吹奏楽部の生徒なども参加する。「レベルの高い楽団とコラボしたり、若い時から一流に触れることで、自分の目標づくりをしてほしい。その近道を大人がつくってあげることも大事なんです。人材を育む環境づくりに一役買っている。」「ほかでは味わうことのできない貴重な経験を得て、世界に羽ばたけるアーティストが生まれてくれることも期待しています。音楽の力で川口を元気にし、人々の心をつなぐたい。川口愛の熱い人たちの心も一つ。みんなが夢を持ち続けられる明るく豊かな街づくりへたゆまぬ挑戦は続いていく。(孝)

